



御幸殿地鎮祭 (平成28年1月15日)



建國記念日祭挨拶

宮司額田照彦

御祭神數

当神社に御鎮祭申し上げております
御祭神は四万九千七百二十七柱です。

本日、皇紀二千六百七十六年建國記念日祭に際し、皇室の限りない弥栄、更には我が国の繁栄と、世界平和をご祈念申し上げました。ご参列の皆様方・崇敬者の皆様方には、日頃より英靈の慰靈顯彰・神社護持、またご奉贊に格別のご支援を賜り、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、大東亜戦争終結から七十年という、節目の年であります。

畏くも、天皇陛下におさせられましては、特別の思し召しを以って、幣帛料を御下賜遊ばされました。

当神社に於きましては、十月十日の秋季慰靈大祭に併せ、天皇陛下幣帛料御下賜臨時奉幣大祭を厳粛に斎行し、謹んでご神前に奉奠し、御祭神にご奉告申し上げました。

また、終戦七十年に關わる談話が安倍首相により発表されました。終戦五十年、六十年の際に発表された、当時の総理大臣の談話よりも、自虐史観が薄まり、何より「あの戦争に何ら関わりのない、私たちの子や孫、そしてその先の世代の子供たちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」と、未来へ向かふた談話であつたのではないかと思われます。私ども国民が、愛国心を取り戻し自信と誇りをもつて、新しい歴史の一步を踏み出せますよう期待しております。

その為にも一刻も早い憲法改正が必要です。悠久の歴史に育まれた、美しい伝統や文化をして世界の平和と繁栄に貢献する、我国の使命を果たす為に、それらを盛り込んだ憲法が求められています。

現在「美しい日本の憲法をつくる」、〇〇〇万人署名活動を、全国の神社界でも進めております。何卒皆様方のご協力を願い申し上げ、一日も早く憲法改正が実現される事を願っております。

また当社「終戦七十年記念事業」の一つであります『御幸殿』の新築工事、祈念史料室の設置も一月十五日に地鎮祭を斎行し、現在建設を進めています。祈念史料室につきましては、御遺族・崇敬者・参拝者の皆様方に「英靈の慰靈顯彰」「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」を後世に伝えられる史料室となるよう進めてまいりたいと思います。

戦後世代の英靈に対する尊崇の意識が希薄になる現在、祈念史料室がこれらの世代の意識改革のきっかけとなることと信じます。

英靈に「報恩」と「感謝」の誠を捧げるこの重要性は言うまでもなく、英靈の御遺徳を子々孫々にまで変わることなく顕彰し、伝えていくことが、国の為尊い命を捧げ散華された英靈に報いる我々の負うべき使命だと思います。

本日ご参列の皆様方にも、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と、御多幸を衷心よりお祈り申し上げ、本日の御挨拶に代えさせて頂きます。

本日のご参列誠に有難うございました。

山本元帥の横顔

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 愛原 章

私が戦時中、呉に住んで居たのを知っている友達が、「元帥の写真が父のアルバムにあった」と言って、そのコピーを送ってくれた。旗艦となる大和か武藏の執務室ではないかと思うが、優しい横顔である。

広島は陸軍の街だったが、呉は海軍一色だった。当時軍港は高い屏に囲まれて中が見えなかつたが、山に登ると港内がよく見えた。大人に見つかるとスペイク等と言われて大変なことになるが、それでも友達と腹ばいになつて、時々軍港を覗いたことがある。あれが大和だ等と先輩が教えてくれたのを思い出す。それは昭和十七、八年頃のことである。

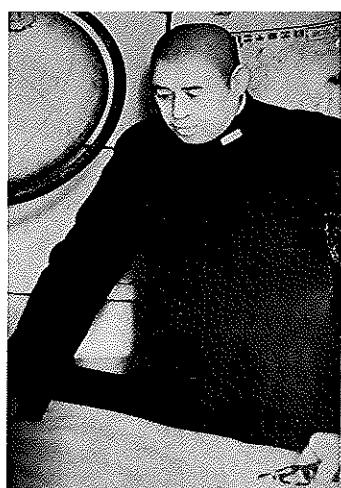
海軍工廠に両親が勤めていたので、昼間は祖母と弟の三人暮らし、弟はまだ小さかったので、父は私を、よく映画館へ連れて行つてくれた。「ふくちゃんの潜水艦」とか「のらくろ上等兵」等といったマンガ映画も上映されるので、何時も父の休みが来る日を楽しみにしていた。軍艦マーチで始まるニュース映画には、軍艦旗や戦艦大和の正面が大きく写し出されていたと思うが、山本元帥の顔はよく覚えていない。甲高い声で叫んでいた、東条氏の顔はよく覚えてるので不思議だ。

しかも国葬が六月五日だったことも、よく分かる。

私達は眞に惜しい人物を、戦争の早い段階で失っていたのである。その後の海軍を考えると、ただ残念と言うしかない。

この原稿を書き終えて、写真を送ってくれた友達に、原稿の内容を話したところ、父から「切腹して深い海に沈んでいるかも…」と聞いたことがあると言い、「海軍の司令長官が、飛行機で死ぬはずないよ」との言葉が

れたとあるから、當時元帥は、とてもニュース映画に登場するような状況ではなかつたことがよく分かる。



平和を願つて

愛媛県遺族会
副会長・女性部長 清家征子



言い残す名は 征に子を付け
この名を背負つて残りの人生を歩んで参り
たいと思います。

昨年十月二十四日、愛媛県遺族会も、青年部を立ち上げる事が出来、孫世代が今後遺族会を引き継いで活動して下さる事となり、大変心強く思つております。

私も、微力ながらお手伝いし、英靈顕彰に勤めて参りたいと存じます。

平成二十七年度 第六十二回 新穀献納祭

平成二十七年度第六十二回新穀献納祭は一月十一日（月）午前十一時より、愛媛縣護國神社で厳かに執り行われた。

愛媛県郷友会永井会長が祭主となり、ご来賓を始め遠く県下から単位会長、役員等五十数名が参列した。県下会員、県民のご協力により拠出された御初穂料・新穀を奉納し、英靈を御慰めした。

今年度は前年度を少し下回る御奉納であつたが、趣旨にご賛同下さいました会員皆様方のご尽力に感謝申し上げます。

自分の国は自分で守るという国防意識の高揚、英靈・殉職自衛官の慰靈顕彰、栄光ある歴史及び伝統文化を継承するという三点の具現実行を通して組織の活性維持に努めており、今後におきましても私ども四万九千七百三十七柱の御祭神のご加護を戴きながら、一四〇万県民のやさしさとパワーを結集し、豊かで住みやすい郷土造りに専念努力する所存であります。

又、自衛隊に関しては、最近の近隣諸国の動静は予断許しがたき不穏な行動が多く憂慮

この献穀運動は、幾多の事変、特に大東亜戦争において、戦禍に倒れ、あるいは、遠い異郷の地に亡くなられた郷土の英靈の皆様方に収穫された新米を献じることから日本郷友連盟の発足する三年前の昭和二十八年に始まりました。

今日の豊かな生活を享受できるのは尊い英靈皆様方の犠牲の上であり、感謝の誠を捧げる慰靈顕彰の伝統行事として会員の皆様の協力を得ながら続けて参りましたが今では定着しております。

今後も永久不滅の愛のある愛媛県の誇れる伝統行事として継続実施する決意を新にしております。

祭文

文

昨年終戦七十年を迎へ、神社も記念行事として、本殿の改修、祈念史料室の設置等、事業も着々と進んでおり、喜ばしい限りでございます。皆様と共に、十月の完成を見守りたいたいと思います。

さて、私事ですが、私は昭和十九年三月、広島県呉市において誕生致しました。祖母、母、兄の四人暮らしで、幼い時から何かと苦労がございましたが、お陰様で今日迄、多くの人に支えられ、穏やかに暮らす事が出来ました事を感謝しております。

戦争で苦労した我々はもとより、時代が変つても、その時々の苦労は、皆背負つて生きなければならない事が、戦争の悲惨さだけは避けなければなりません。この先、孫子の代がどうぞ平和でありますようにと願つて止みません。

誕生す その時すでに 父亡き子

本日、愛媛縣護國神社の大前において、ご来賓及び郷友会員多数ご参列のもと第六十二回新穀献納慰靈祭が、厳かに執り行われるにあたり郷友会を代表して謹んで祭文を奏上いたします。

される中、益々のご奮闘を期待すると共に、
その活動に対し限りなく最大限の支援を続けて参ります。

終わりになりましたが、在天の英靈、どうか御遺族の皆様をはじめ県民全てにご加護を賜り、安らかにお鎮まり下さいますよう祈念し祭文と致します。

平成二十八年一月十一日

愛媛県郷友会

会長 永井之保

『戦友団体等による慰靈祭』

平成二十七年

十月三日 公益社団法人 愛媛県隊友会

十月十七日 愛媛偕行石鉄会 戦没者戦争裁判殉国者

『遺族会等による慰靈祭』

平成二十七年

十月三日 今治市閔前支部遺族会

十月十九日 西予市野村町貝吹遺族会

十月十九日 今治市大三島町遺族会

十一月二十八日 四国中央市新宮町遺族会

十一月七日 愛南町遺族会城辺支部

平成二十八年
三月九日 今治市上浦町遺族会

三月十六日 西予市遺族会三瓶支部
三月二十六日 西予市遺族会宇和支部
三月二十六日 西予市遺族会城川支部

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、「翻刻旗忠社」

二、「靖國神社問題の周辺②・③」

愛知県名古屋市中区三の丸

愛知縣護國神社 様

一、「富士山大鳥居式年大修理事業竣工記念誌」

山梨県富士吉田市上吉田

北口本宮富士浅間神社 様

一、「南京大虐殺と従軍慰安婦は本当か」

福岡県太宰府市五条

幸運の科学太宰府支部 様

一、「昭和天皇の祈りと大東亜戦争」
一、「女子の集まる憲法おしゃべりカフェ」
一、「天皇陛下と大相撲」

東京都目黒区青葉台

日本会議総事務局 様

一、「皇學館大学研究開発推進センター年報第二号」
一、「皇學館大学研究開発推進センター紀要第二号」

三重県伊勢市神田久志本町

皇學館大学研究開発推進センター 様

「忠靈」 献謡奉仕者（愛媛縣護國神社獻謡会）
九日（靈廟奉安祭・宵宮祭）

沖縄県那覇市若狭

平成二十七年（十月）
臨時大祭並びに秋季慰靈大祭奉仕者

(敬称略)

遺族会代表獻供奉仕者

女性 部四国中央市三島中央 篠原 薫

遺児 四国中央市中曾根町 石川秀光

献茶菓奉仕者（茶道裏千家淡交会松山支部）

上岡宗里社中 松山市清水町

中田景子

平岩宗良社中 松山市清水町

岡部宗澄

獻花奉仕者（愛媛県華道会）

松山市二番町

芳野知栄

松山市二番町

守田麻由

敬神婦人会代表獻供奉仕者（愛媛縣護國神社敬神婦人会）

伊予郡遺族会 伊予郡砥部町原町 相田美和子

伊予郡遺族会 伊予郡砥部町高尾田 水口一恵

幣殿獻花奉仕者（華道家元池坊松山支部）

松山市内浜町

長尾洋子

松山市北井門

森川恵子

清吟堂吟友会

田村江道

清吟堂吟友会

大窪柳星

清吟堂吟友会

西藤櫻山

尺八獻奉者

清吟堂吟友会

清吟堂吟友会

清吟堂吟友会

清吟堂吟友会

横野嵐将山

横野 静玲 湊江苑

武智溪

中井 静玲

孫

正式参拝



☆平成二十七年十月八日

全国居合道連盟

会長 灘野 紀弘 様

計五名

☆平成二十七年十一月三十日

愛媛県神社庁松山支部

神職総代研修会

会長 安永 成様

計六十三名

☆平成二十八年一月二十八日

愛媛県神道青年会

会長 十亀 雅史 様

計八名

☆平成二十七年十月三日
松山市遺族会清掃奉仕
会長 愛原 章 様
計五十名

☆平成二十七年十月二十四日
愛媛県遺族会青年部発足
会長 関谷 勝嗣 様
計四十名

☆平成二十七年十月四日

ボーカスカウト松山第十六団
清掃奉仕・奉賛金奉納
団委員長 小島 伸治 様
計二十三名

☆平成二十七年十月二十四日

川又 曜子 様
計三名

☆平成二十七年十月二十四日

ミャンマー会
代表 藤田 恵美子 様
計七名

☆平成二十八年一月一日

愛媛県隊友会
事務局次長 小池 忠紀 様
計三十名

☆平成二十八年一月四日
愛媛県遺族会事務局事務局長 池見 健式 様
計六名☆平成二十八年二月十九日
靖國神社爾宜 落合 雅義 様
計一名☆平成二十八年三月六日
ボーカスカウト松山第十六団

特別養護老人ホーム久谷莊
双葉友の会
会長 松本 美枝子 様
計二十三名

☆平成二十八年三月六日
ボーカスカウト松山第十六団

褒詞並びに神道章授与
烏越 丈範 様
計二十二名

☆平成二十八年三月二十六日

今治市遺族会
事務局長 長野 幸造 様
計三十三名

☆平成二十七年十一月十六日
愛媛県遺族会後継者・慰靈巡拝
者及び女性部と英靈研修会
英靈にこたえる会
会長 佐伯 要 様

☆平成二十八年一月十一日
愛媛万葉苑保存会
常任理事 藤原 茂 様
計一千名

☆平成二十八年一月十四日
參議院議員 山本 順三 様
日本遺族会会长 水落 敏栄 様
計三百三十名

☆平成二十八年一月十四日
特別養護老人ホーム久谷莊
橋岡 淳 様
計十五名

☆平成二十八年三月二十六日
大洲市長浜遺族会
橋岡 淳 様
計四十一名

愛媛縣護國神社終戦七十年記念事業奉賛のお願い

愛媛縣護國神社は、明治三十二年の創建以来戊辰の役から大東亜戦争終結までの県内御出身の英靈をはじめ、産業文化發展の功労者、公務殉職者を奉斎致しております。

昨年八月十五日に終戦七十年を迎え、その節目に境内整備として記念事業を進めております。

然し乍ら本事業完遂には総額三億円を超える多額の御淨財を要します。つきましては厳しい社会情勢の中、誠に心苦しい御願いで御座いますが、御靈の安鎮と平和の尊さを次世代に伝えるため、多くの皆様方の御篤志を仰ぎたく何卒御協力賜りますよう懇願申し上げます。

詳しく述べは、社務所へお問い合わせ下さい。

愛媛縣護國神社宮司　額　田　照彦

愛媛縣護國神社社務所
二十九〇一〇八二四

松山市御幸一丁目四七六番地
電話(089)925-12353